

乳幼児健康審査の地域システムに関する研究

松井一郎 国立小児病院・小児医療研究センター・小児生態研究部

1. 研究目的

乳幼児健康審査の機能をシステム科学の面から検討し、夫々の地域（広域から単位地域まで）に於ける乳幼児健診システムの到達すべき方向と問題点を明らかにすること。

2. 研究方法

システムモデルとして愛知県を対象とし、母子健康審査マニュアル（愛知県衛生部）を解析対象とする。

3. 研究結果

1) 母子健康審査マニュアル（愛知県衛生部の概要

愛知県に於ける母子保健活動、とくに乳幼児・母性・歯科などの健康審査の標準化、系統化、および母子一貫管理システムの確立を目標として検討が行なわれた。愛知県衛生対策審議会、母子保健対策専門部会（専門分科会委員長：村地俊二）により母子健康審査マニュアル（愛知県衛生部）として昭和60年2月に答申、発行された。

マニュアルの内容は、第1編：医科編、第2編：歯科編に分かれ前者は乳幼児の健康審査、母性の健康審査、乳幼児集団健康審査システムの3部が骨格となっている。

2) 乳幼児健康審査の標準化

①身体計測の諸条件の標準化、②乳幼児期健康審査の時期区分（1か月児、3-4か月児、6-10か月児、1才6か月児、3才児）、および③夫々の時期に於ける健診のチェックポイント、④診察手順と注意事項、⑤保健指導、⑥育児指導の基準が明示されている。

3) 2次スクリーニングのための発達評価の基準および経過観察の方法論

4) 乳幼児集団健康審査システム

以下の3つの柱で県レベルの乳幼児健康管理が標準化されている。

- ① 運営システム：対象および対象の把握、集団健康審査の進め方、未受診チェック
- ② 事後管理システム：管理すべき問題、管理区分、事後管理の進め方、追跡観察の対象および基準
- ③ 情報管理システム：情報の種類、情報の管理および愛知の母子保健・健康審査情報の記載様式

4. 考察

本研究で解析対象とした愛知県の目指す母子保健システム（乳幼児健診を中心とした）は幾つかの点で際だった特徴がある。

その1は、従来の健康審査の考えとは異なり、妊娠-出産（出生）-乳児期-幼児期の連続した個人の健康管理を考える母子一貫管理方式を目指す点である。その2は、県域全体で徹底した標準化・基準設定を意図した点であろう。その3は、そこから得られる情報について、一方では対象児の事後措置の流れを整備すると同時に、他方ではその情報の地域評価（県域を含む）に繋がる情報システムの整備を意図した点であろう。県内に生まれたこどもの保健は、それぞれの単位地域（保健所、市町村）の母子保健の実働アクティビティに密接に関係するから、県衛生部が母子保健の見直しと新しい方向を意図した事は、単位地域の母子保健活動の向上に大きな力を発揮するであろう。

乳幼児の集団保健審査を地域システムとして位置づけることは極めて重要である。小児科学、小児保健学の教科書には乳幼児

健康診断の密度の高い基準が記載されているが、個々の集団健診の場に於いてどこまで基準に近づけるかは夫々の地域の母子保健（担当者の）の企画力、稼働力に依存する。また、逆に地域特性を無視した集団健診の基準設定は実行性を持たない事になる。

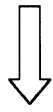
乳幼児健康審査を地域システムとして考える際、幾つかの特性（乳幼児健診の側面）に合わせて現実的な運用を図ることも重要であろう。それらを列挙してみると：

- ①複合システムとしての特性：参加する職種、参加機関、事後措置、療育問題 etc.
- ②流動性・発展性：健診時期の追加、内容の充実、etc.
- ③地域特性：都市農村漁村山村などの地域差、周辺の医療機関などの整備、etc.
- ④地域の母子保健活動との相互関連：地区医師会、etc.

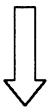
母子保健活動の充実を目指して、乳幼児健診のシステム検討を行なうことは重要である。それは、現行のシステムの持つ問題点、システムモデルの設定、システム修正とその際に生じる問題と対策などである。

乳幼児健診を地域システムとして検討する際には、一方の軸には、町村・中都市・大都市などの地域特性をとり、対応する軸には、乳幼児健診の運営・事後措置・情報管理などの機能面を取り、細部の検討を行なうことも有用と思われる。システム修正や変更の際の問題点・対策については短期に解決できるものと長期的な対応を必要とする区別も必要であろう。

なお、いかなるシステムの運用に於いても、標準化とドキュメンテーションは基本のステップであり、この両者の作業を抜きにしてはシステムの持つ効果の測定は非常に困難である。愛知県全地域の標準化とドキュメンテーションを目指した母子健康審査マニュアルの作成は母子保健活動の将来の方向を示すものとして評価されるべきと思われる。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



1、研究目的

乳幼児健康審査の機能をシステム科学の面から検討し、夫々の地域(広域から単位地域まで)に於ける乳幼児健診システムの到達すべき方向と問題点を明らかにすること。